

福島第一原子力発電所 土壤中の Pu 分析結果

1. 測定結果

(単位：Bq/kg・乾土)

| 採取場所 ()は1,2号機スタックからの距離 | 採取日 分析機関 | Pu-238 | Pu-239, Pu-240 |
|----------------------------|-------------|---------------------------------|---------------------------------|
| グラウンド(西北西約 500m) | 1月 16 日 | $(1.5 \pm 0.13) \times 10^{-1}$ | $(5.9 \pm 0.77) \times 10^{-2}$ |
| 野鳥の森(西約 500m) | 日本分析 | N.D. [$<9.5 \times 10^{-3}$] | N.D. [$<9.9 \times 10^{-3}$] |
| 産廃処分場近傍(南南西約 500m) | センター | $(2.9 \pm 0.20) \times 10^{-1}$ | $(1.1 \pm 0.11) \times 10^{-1}$ |
| 国内の土壤 | | N.D. $\sim 1.5 \times 10^{-1}$ | N.D. ~ 4.5 |

[]内は検出限界値を示す

: 文部科学省「環境放射線データベース」昭和 53 年～平成 20 年

: 「グラウンド」「産廃処分場近傍」は、過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。「野鳥の森」は同じポイントを深さ方向に採取(採取不可となった時点でポイント変更)

2. 評価

1月16日に検出された Pu-238 と Pu-239, 240 の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

なお、3月21日以降にサンプリングした試料から Pu-238 および Pu-239, Pu-240 が検出されている箇所があるが、値に大きな変化は見られていない。

以上